

平成25年 第8回 青森市教育委員会定例会 会議録

1 開会日時 平成25年8月16日(金)午後3時00分

2 閉会日時 平成25年8月16日(金)午後3時35分

3 会議開催の場所 教育研修センター4階 第2研修室

4 出席委員

佐藤秀樹
平出道雄
西村恵美子
佐藤克則
石澤千鶴子
月永良彦

5 事務局出席職員

教 育 部 長	福 井 正 樹
理 事	工 藤 壽 彦
教 育 次 長	成 田 聖 明
教 育 次 長	伴 孝 文
浪岡教育事務所長	平 田 公 成
参事 文化スポーツ振興課長	加 藤 文 男
総 務 課 長	八木澤 透
社 会 教 育 課 長	鳴 海 雄 大
中央市民センター館長	今 牧 彦
文化財課副参事	木 村 浩 一
市 民 図 書 館 長	田 中 聡 子
学 務 課 長	山 谷 尚 史
学 校 給 食 課 長	川 邊 真 理 子
指 導 課 長	山 谷 明
浪岡教育事務所教育課長	須 藤 勉

6 会議に付議された案件

(1) 議 事

議案第28号 青森市教育委員会事務局の組織及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について

議案第29号 平成25年度一般会計補正予算について

(2) 報 告

平成25年度青森市少年海外生活体験事業について

青森市小学校給食センター等整備運営事業PFI事業者の融資契約締結と直接協定について

一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社の経営状況及び経営改善計画の進捗状況について

(3) その他

7 会議録署名委員

佐藤克則
月永良彦

8 会議の概要

午後3時00分に委員長が開会を宣言する。会期を一日とし、会議録署名委員を前項7のとおり指名する。

議案第29号を非公開の会議とすることを決定し、議案第28号を審議し、原案のとおり決定した。

事務局から3件の報告をし、平成25年第9回定例会の日程調整をした後、非公開の会議により議案第29号について審議し、原案のとおり決定し、閉会した。

9 会議の状況

(1) 議事

委員長 それでは議事に入ります。議案第28号「青森市教育委員会事務局の組織及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について」事務局から説明をお願いします。

福井部長から説明

福井部長 議案第28号 青森市教育委員会事務局の組織及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定につきまして、御説明申し上げます。

この議案は、平成25年度の教育委員会の組織・機構の見直し等に伴い、平成25年第3回定例会において議案第12号として御議決をいただき、平成25年4月1日から施行した本規則につきまして、一つには、油川市民センターに勤務する職員の勤務時間を定めた規定の誤りがあったため、これを改めるといふこと、二つには、以前の改正の際に、改正漏れがありましたことから、条文の整理をする所要の改正を行うため、提案するものであります。

それでは、議案第28号附属資料「青森市教育委員会事務局の組織及び運営に関する規則新旧対照表」をご覧くださいと思います。

まず、第4条をご覧ください。

改正点の1点目につきましては、先ほどお話ししました条文の整理に関するものですが、第4条第5項の下線部分「前四項」を「前三項」に改めるものでございます。

これは、平成24年4月1日施行の改正におきまして、「事務局に学習環境調整監を置くことがある」旨を規定していた第5項を削除するとともに、第6項を現行の第5項とした際に本来、「前三項」と改めるべきところに改正漏れがあったということでございます。

2点目につきましては、別表第三をご覧くださいと思いますが、油川市民センターの勤務時間の規定に係る改正でございます。

平成25年4月1日施行の改正におきまして、誤って規定していた部分でございます。

「別表第3」「油川市民センターに勤務する職員」の「遅出勤務」の「勤務時間」の下線部分「午後一時四十分」を、本来の勤務時間である「午後一時四十五分」に改めるものでございます。

なお、勤務実態につきましては、今回改正する時間帯で本年4月から勤務しており、給与などに影響があるものではございません。誤りに気付いたということもあり、本年度4月から、改正する時間帯で勤務をしてございまして、職員の給与等につきましては、影響がないという状況でございます。

以上でございます。

委員長 ただいまの事務局の説明について、御意見、御質問等ございませんか。

委員長 それでは、議案第28号について、原案どおり決定してよろしいでしょうか。各委員了承

委員長 御異議が無いようですので、原案どおり決定することといたします。

(2) 報告

委員長 それでは、報告事項に入ります。今回の報告事項は3件となっています。

はじめに、「平成25年度青森市少年海外生活体験事業について」事務局から報告をお願いします。

社会教育課長から説明

社会教育課長 青森市少年海外生活体験事業について、御報告いたします。

青森市少年海外生活体験事業として実施しております、本市と大韓民国・平澤市の中学生の相互訪問による交流事業が、無事終了致しましたので、御報告申し上げます。

今年度は、市内の中学生、男子4名、女子8名、計12名が研修生として、7月25日から7月30日までの5泊6日の日程で平澤市を訪問した後、7月30日から8月3日まで、4泊5日の日程で、本市研修生がホームステイでお世話になった平澤市の中学生12名を本市に受入れ、交流を行いました。

お配りしている資料をご覧ください。

平澤市訪問では、陶芸の絵付けや、紙で作った風船に火を入れて空へ飛ばす風灯作り、韓国の伝統衣装の着付などの体験活動や、「韓国民俗村」や平澤ウグダリ農楽の見学、ホームステイなどを行いました。本市の中学生が、平澤市の中学生やホストファミリーと、韓国語や英語で、積極的にコミュニケーションを取りながら、少しでも韓国の文化や言葉を学ぼうとする姿勢が見られたところであります。

また、青森市受入れでは、平澤市研修生と一緒に、「八甲田ロープウェイ」や「ねぶたの家ワ・ラッセ」などの見学、和菓子づくり・茶道体験、ねぶた祭への参加などを通じて、本市の自然や歴史、文化などを、改めて見つめ直す機会となったとともに、ホームステイにおいては、平澤市で学んできた友情の輪を、さらに大きなものとする事ができたものと感じております。

限られた時間ではありましたが、平澤市研修生にとりまして、異国文化、青森市を知る貴重な体験となったものと考えています。また、本市の研修生にとりましては、平澤市の自然や文化、生活を直接体験し、そこに住む方々と心触れ合う交流をしたことは、韓国に対する理解やコミュニケーション能力の育成が図られたとともに、感動と喜びに満ちたかけがえのない経験となったものと考えております。

以上でございます。

委員長 ただ今の御報告について、御意見、御質問等ございませんか。

月永委員 今回の青森市少年海外生活体験事業については、2点について、お話しします。

1点目は、今までの市内中学生を各学校から推薦で派遣してきましたが、今回は、初めて公募という形で、派遣したため、心配しておりましたが、生徒たちは非常に意欲的に、そして友好的に活動したということで、公募のやり方が成功したということでもあります。

2点目は、今回の日程の調整の都合もありますが、韓国に行ってそのまま、一緒に青森に来て、10日間ほど、一緒に行動したということで、友好が深まったということ、それだけに子どもたちは、韓国の平澤の子どもたちに対して、非常に関心を持ち、さらには、友好を深めていったという点で、成功したのではないかと思います。

子どもたちは、大変疲れたとは思いますが、最後の日辺りは、かなり仲良くなって、空港では涙ながらにお別れしたのではないかと考えております。この事業に関しまして、韓国でホームステイを引き受けてくれた向こうの御家族の皆さん、本市の受け入れてくれた御家族の皆さんには、本当にお世話になり、来年度、また、良い事業にしていきたいと考えております。本当に今回は、良い体験事業で、成功に終わったのではないかと評価を私としてはしております。

委員長 ありがとうございます。他にございますか。本当に、今、月永教育長が言われたように、濃密な10日間と思います。

委員長 それでは次の報告に移らせていただきます。「青森市小学校給食センター等整備運営事業 P F I 事業者の融資契約締結と直接協定について」事務局から報告をお願いします。

学校給食課長から説明

学校給食課長 青森市小学校給食センター等整備運営事業 P F I 事業者の融資契約締結と直接協定について、御報告いたします。

お手元の資料をご覧ください。

青森市小学校給食センター等整備運営事業は、民間の資金や経営能力及び技術的能力を活用し、公共施設等の建設、維持管理、運営等を行う P F I での事業を進めておりますが、このたび P F I 事業者である株式会社青森スクールランチサービスが、事業資金調達のため、平成 2 5 年 7 月 3 1 日に株式会社みちのく銀行との間で、プロジェクトファイナンスによる総額 1 億 3 , 9 0 0 万円の融資契約を締結いたしました。融資実行予定日は平成 2 6 年 5 月 3 1 日、融資期間は 1 5 年間とされております。

また、この融資契約締結を受けて、市といたしましては、融資金融機関である株式会社みちのく銀行との間で、P F I 事業者を介さずに直接結ばれる、直接協定の協議を進めて参ります。

これは、P F I 事業者による事業の実施が困難になった場合又はその恐れがある場合などに、市は、融資金融機関による一方的な資金回収・資産処分リスクを回避し、事業の安定的な継続を確保する必要があり、融資金融機関としましても、市による一方的な事業契約解除のリスクを回避し、事業の再構築の機会を確保することが必要で、事業の安定的な継続が安定した融資資金回収に繋がることから、双方が協力して事業の建て直しや継続の道筋を探すためのルールをあらかじめ取り決めておくことが必要なためであり、協議がまとまり次第、直接協定を締結する予定でございます。

平成 2 4 年 1 1 月に建設工事に着手した青森市小学校給食センターは、平成 2 5 年 1 2 月末の完成に向け、概ね計画通りに整備が進んでおり、7 月末時点での進捗率は約 4 0 パーセントで、鉄骨組みが終了し、外壁工事に取り掛かっております。

また、従業員の雇用に関しまして、小学校給食センターに統合される西部及び中央部学校給食共同調理場と単独給食実施校 3 校（大野小学校・千刈小学校・戸山西小学校）の臨時調理員、給食配送対象校の配膳員、中学校給食センターの従業員を対象として、去る 7 月 2 2 日・2 3 日に運營業務を担うこととなる株式会社グリーンハウスが会社説明会を実施し、8 月 1 9 日から 2 2 日までの期間で面接を実施することとなっております。

今後のスケジュールですが、平成 2 6 年 1 月頃から給食の調理・配送等の試行などの開業準備を行い、平成 2 6 年 4 月に小学校給食センターの供用を開始し、平成 4 0 年度までの 1 5 年間、給食の調理や配送等の運営を実施して参ります。

報告は、以上です。

委員長 ただ今の報告につきまして、御意見、御質問等ございませんか。

委員長 無いようですので次の報告に移らせていただきます。次に、「一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社の経営状況及び経営改善計画の進捗状況について」、事務局から報告をお願いします。

文化スポーツ振興課長から説明

文化スポーツ振興課長 一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社の経営状況及び経営改善計画の進捗状況について、御説明申し上げます。

はじめに、市では平成 2 2 年 1 0 月に策定いたしました「青森市第三セクターに関する基本方針」におきまして、第三セクターの経営状況等については、毎年度定期的に議会に対して報告することとされており、今年度は 8 月 2 1 日の市の文教経済常任委員協議会へ報告することとなりましたことから、それに先立ちまして、本定例会に教育委員会事務局所管の第

三セクターであります一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社の経営状況等について報告するものであります。

合わせて、先般同法人が中長期視点のもとに自助努力による改革・改善を目指すことを目的として策定いたしました経営改善計画の進捗状況につきましてもお配りの「経営改善計画書」、「財務見通し」及び「個別事業の具体的取組内容」により、概略を御報告させていただきます。

まず、「経営状況基本情報シート」でございますが、2ページをご覧くださいと思います。

この法人は、国による公益法人制度改革に対応し、平成25年4月1日付けで財団法人青森市文化スポーツ振興公社から移行した一般財団法人であり、文化及びスポーツの普及振興に関する事項及び文化施設の指定管理業務が主な業務となっております。

また、今年度からスポーツ施設の指定管理者でなくなったことにより、指定管理業務は4文化施設、2駐車場の指定管理者となっております。

次に、3ページをご覧ください。

- 1 役員の状況でございますが、役員総数11名のうち、月永教育長が市兼務職員の非常勤理事、市職員OB1名が非常勤監事に就任しております。

- 2 役員名簿については記載のとおりとなっております。

続きまして4ページをご覧ください。

- 1 職員の状況でございますが、平成25年4月1日現在の法人職員数は、常勤・非常勤合わせて23人でございますが、その中に、市派遣職員、市職員OBはおりません。

5ページから8ページにつきましては、組織体制及び事務分掌やマネジメントの状況を記載しております。後ほどご覧いただければと思います。

次に、財務状況について御報告いたします。9ページをご覧ください。

まず、経営成績の概要でございますが、平成24年度は定期昇給の凍結や期末勤勉手当の削減を継続し人件費の抑制を図ったものの、指定管理業務における光熱水費等の増加の影響により、当期一般正味財産増減額は、1,416万円のマイナス計上となり、前年度に続きまして赤字計上となっております。

事業収益のうち、本市からの指定管理収益の7億9,184万7千円につきましては、法人職員の退職金が含まれていることから前年度と比較して大幅な増額となっております。

また、経常外収益780万円につきましては、不明金問題に係る裁判の結果、受け取った和解金を計上したものであります。経常外費用1億646万2千円につきましては、職員11名分の退職金等を計上したものでございます。

赤字決算の主な要因であります光熱水費につきましては、ガス、電気料金の高騰が影響いたしました。これまで文化スポーツ施設の指定管理業務において、光熱水費及び燃料費は原則非精算科目とされており、剰余が発生した場合についても返納は行っておりませんでした。なお、平成25年度以降の指定管理業務においては、これらを精算科目とし、剰余が発生した場合には市に返還し、不足の場合は増額対応することとしております。

10ページをご覧ください。

財政状態の概要でございますが、資産の部において本年4月入金の指定管理料を流動資産として計上し、また、負債の部において4月以降に支払う退職金を流動負債として計上したことによりそれぞれ増額となっておりますが、正味財産の部のうち一般正味財産として、利益剰余金7,611万5千円を計上しております。

11ページをご覧ください。

本市の財政的関与等の状況でございますが、元気プラザ及び西部市民センタートレーニングルーム室での運動指導業務や西部市民センタープール等管理業務、合浦海水浴場管理業務の委託料として2,500万2千円、文化スポーツ施設13施設の指定管理料7億9,184万7千円となっており、平成24年度の合計は8億1,684万9千円となっております。

12ページをご覧ください。

経営状況に関する指標でございますが、当期損益について、先ほど御説明したように平成24年度は1,416万円の赤字計上となったことから、結果、累積損益も同額分減少しております。

そのため、比率が高いほど財務体質が健全であるとされる自己資本比率についても、平成24年度で45.0パーセントと前年度を下回っております。

以上が、経営状況基本情報シートの主な内容となっております。

続きまして、同法人が策定した経営改善計画の進捗状況について御説明いたします。

資料2「経営改善計画の進捗状況に係る資料」をご覧ください。

1ページをご覧ください。

本表は、経営改善計画の進捗状況をまとめたものでございます。

概ね計画どおり進んでおりますが、このうち、市の出資目的を果たすため、法人が積極的に取り組むこととしている「1.利用者サービスの充実・強化」における「利用者の増加」につきましては、資料30ページ「各事業の実績及び目標値達成状況の一覧」に記載のとおり、平成24年度実績は、

文化施設において、目標値63万3,705人に対しまして、実績が60万7,488人となり、マイナス2万6,217人

スポーツ施設において、目標値87万7,216人に対しまして、実績が97万2,032人となり、プラス9万4,816人となり、合計すれば目標値を6万8,599人上回る結果となりました。

資料2の1ページに戻っていただきまして、「2.効率的な組織体制の確立と人材育成」における「給与・人事制度の見直し」につきましては、平成24年度において、職員の給与・手当削減を盛り込んだ新給与規程を策定したところでございます。

以降については、これまでの説明と重複いたしますので、割愛させていただきます。

なお、当該法人の経営改善計画につきましては、平成25年度からスポーツ施設の指定管理者とならなかったため、事業の内容が大幅に変更となり、平成25年3月に行われた同法人理事会において、スポーツ施設の利用者数など、平成25年度の事業目標値等の変更を行ったところでございます。

以上、教育委員会事務局が所管する一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社につきまして御報告いたしました。このうち、「経営状況基本情報シート」につきましては、8月21日の文教経済常任委員協議会への報告後、市ホームページに掲載する予定としております。

以上でございます。

委員長 ただいまの報告について、御意見、御質問ございますでしょうか。

委員長 その他、何かございませんか。それでは事務局から次回の定例会の日程についてお願いします。

総務課長 次回の定例会の開催日時を9月30日(月)午後3時から、場所を教育研修センター4階第2研修室と考えております。

委員長 委員の皆様、今の御提案でよろしいでしょうか。

各委員了承

委員長 それでは御異議がございませんので、次回は、9月30日(月)午後3時から、場所は教育研修センター4階の第2研修室で行いたいと思います。

委員長 以上を持ちまして、平成25年第8回青森市教育委員会定例会を終了いたします。

平成25年8月16日開催の平成25年第8回青森市教育委員会定例会の会議録を作成した。

平成25年10月23日

書記 川村 拓

上記のとおり相違ないことを認め署名する。

平成25年10月29日

署名委員署名委員 佐藤 克 則

署名委員